

AIDS UPDATE

No.73 2007.5.31

広島大学病院
エイズ医療対策室
内線5581(輸血部長室)
Internet:www.aids-chushi.or.jp



6/1~7日は HIV抗体検査普及週間です。



日本では数年前から1日平均三人の新規HIV感染者が報告されるようになり、昨年度報告された新規感染者数は過去最多で、感染者数は増加の一途をたどっています。また、HIV感染が分かった時点でAIDSを発症していた人の割合は約3人に1人です。HIVに感染していることを知らずに過ごしていた一人の人が、HIVに感染してからエイズを発症するまでに約10年かかるといわれ、その間HIVに感染していることを知らずに過ごし、自分の感染を知らないまま、防御のない性行為をしている人が多くいることが推察されます。

一方で、ある機関に通院する患者さんに対して、HIV感染を知る前と知った後でのコンドームの使用率を調べた調査があり、HIV感染を知った後にはコンドームの使用率が高くなるという結果が出ています。このことから、HIV感染が早期に発見されることは、その人のエイズ発症が予防できるだけでなく、社会全体への感染拡大を阻むことができると考えられます。

しかし、現状としてリスクがある人(防御のない性行為をしたことがある人)すべてが保健所にHIV抗体検査を受けに行くまでには至っておらず、HIV抗体検査を受けている人はたった0.09%とされています。そのため、いたるところで「HIV専門医だけでなく、他の分野の医療従事者もリスクがある人に対してHIV抗体検査を勧めよう」と言われるようになっていきます。

6/1~6/7は、HIV抗体検査普及週間です。この機会に、診療の中でHIV感染症が疑われる人はいないか、もう一度考えてみませんか？

エイズ医療対策室では、エイズ検査を勧めるお手伝いをしています。

エイズ検査をどう勧めればいい？
スクリーニング検査で陽性だった
ひとに、どう説明すればいいか？
性感染症を繰り返す人にどのよう
に指導すればいいのか？
保健所での検査を希望されている
んだけど、保健所の検査日を知り
たい。

などを、HIV専門の臨床心理士、看護師、ソーシャルワーカー、医師が相談に応じます。電話番号は内線5351です。



第21回 日本エイズ学会学術集会・総会
21st Annual Meeting of The Japanese Society for AIDS Research, Hiroshima 2007

STEP UP!

情報・教育

URL: <http://aids.or.jp>



21st Annual Meeting of The Japanese Society for AIDS Research
日本エイズ学会学術集会・総会
2007年5月31日(水)～6月7日(木) 広島大学病院 5581